

—歴史的な価値を持つ建築物を保存していくために—

# 東京歴史まちづくりファンド

平成27年度「東京都選定歴史的建造物」の保存支援の取組みとして、  
下記の歴史的建造物への助成事業を行いました。

歴史的な街並み景観の形成を図るため、「平成27年度歴史的建造物助成対象事業」を募集し、応募のありました歴史的建造物を「東京歴史まちづくりファンド審査会」に諮り、下記の歴史的建造物に交付金の助成が実施されました。

## 歴史的建造物の名称と助成対象事業の内容等

### 1. 聖母病院【選定番号 56】

#### ■概要

所在地 東京都新宿区中落合二丁目5番1号  
建築年 昭和6年（1931年）  
設計 マックス・ヒンデル  
構造・階数 RC造3階搭屋付  
竣工年月日 H26年～27年

#### ■補修箇所

外壁タイル補修工事

#### ■まちづくりへの貢献

- ①聖母会は、その前身であるマリア奉仕会が明治33年に熊本市で医療事業を開始し、昭和6年に東京市の認可により「聖母病院」を開院し、国籍・信仰・貧富を問わず、医療を必要とするすべての人々に奉仕し、地域医療にも大きく貢献してきました。
- ②聖母病院は昭和初期のデザインで、薄茶のタイル張りの外壁と、L字型建物中央の頂部銅板葺屋根の二つの塔が特徴となり、地域のシンボルとなっている。
- ③敷地入口にあるヒマラヤ杉は、新宿区の保護樹林であり、壁面の茶色と調和した景観を形成している。



## 2. 明治神宮桃林荘【選定番号 60】

### ■概要

所在地 東京都渋谷区代々木神園町1番1号

建築年 明治初期

設計 不詳

構造・階数 木造1階

明治神宮社殿の東方に建つ近代和風建築

### ■補修箇所

屋根銅板葺き替え、軒天木板取替え、補修工事

### ■まちづくりへの貢献

①明治神宮は、大正9年に明治天皇と昭憲皇太后を祭祀する神社として創建され、初詣の参拝者数は毎年日本一を記録し、都民にも広く親しまれた神社です。

②桃林荘は明治天皇第二子建宮敬仁親王の御殿であった建物を昭建皇太后の生家である一條家へ御下賜され一條家公邸となり、元々一條家にあった崑山亭を付属の茶室に加え、桃華殿と称されていました。

③昭和34年に明治神宮が譲り受け、明治記念館に移築し桃林荘と称されました。

④その後、昭和53年には現在の境内へと移築されました。

⑤現在では、代々木の杜の散策には欠かせない人気のスポットとしても、また、各種茶会や結婚披露宴としても使われ、広く親しまれた人気の施設となっています。



桃林荘



崑山亭